

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.7.8～7.19
クラス名(年齢)	たんぽぽ組(0歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

おみせやさんごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

水の感触あそびや、手足を使ったわらべうたを楽しんでいる子どもたちが水の生き物の色を手形足型で付けることで繋がりを作った。花紙を握ることは月齢差があってもできるので取り入れた。

2.活動スケジュール

R6 7. 8～10 花紙に触ってみよう (ビニール素材に入れたら)魚になったよ

R6 7. 11～12 手形足型で色を付けたら…? タコとイカになっちゃった! ?

R6. 7. 16～19 みずのこまつりに行ってみよう!

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

不織布(白・赤) スタンプ台、絵の具 筆

花紙 ビニール

4.探究活動の実践

<活動内容>

感触遊びから花紙に触れ、揺らしたり顔を隠して保育士と一緒に遊ぶ。そこから花紙に興味を持った子は、口に入れて感触を確かめようとしたり握ったり保育士に渡す。月齢の高い子はビニールに入れる事も楽しむ。作った魚やイカは部屋の中の水辺に泳がせて子どもたちが自由に障ったり集めて遊べるようにした。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R.7.9 花紙をクシャッと丸めてぽーい! (Aちゃん) (その花紙をいくつも集めるk君)あれ?ビニール袋に気が付くとそこに入れてシャカシャカ振ってみたよ!	
R.7.10(花紙の入ったビニールの魚をスズランテープの海に置くと)k君は魚はいらな〜い! 全部外に出してゴローンと寝転がっちゃおう! (T君)あ! 魚見つけた! (両手に抱えるRちゃん)	
R. 7. 11(水のふれあい遊びから足裏を触ると身をよじらせて)くすぐった〜い! もっとやって〜(と足を差し出すH君。) (今度は筆でと絵の具で足裏を触ってみると…)「! ?」瞬きをして身体がギュッと硬くなって…自分の色のついた足裏を見たら「…うわーん!」泣き出しちゃった!	
R.7.16 自分達で色を付けたタコとイカが海の中で泳いでいるとk君はやっぱぽいっとしたら「?」音がしたよ! 慌てて取りに行き振ってみたら楽しくてニッコニコ!	
R6.7.18 「みずのこまつり」に行ってみると皆で作ったタコとイカがあった! でも人が沢山でドキドキ…泣き出してしまいう子も。いるけど魚のプールは知ってるよ! (安心した様子)	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

花紙を丸めたり、ビニールに入れたりする際に“口に入れてしまわないか”側で保育士が見守っていたが投げたりクシャツとする事に子どもたちは夢中になっていた。絵の具の感触など初めて触れるものに子どもたちはどう感じているのだろう、と疑問に思いながら側につく。絵の具のヒヤリとした感触にすぐ気づき嫌がる子、気にしない子、色が付いた足裏を見てから嫌がる子もいた。いつもの足裏の状態が分かるからこそ色のついた足に不安になるのだと子どもの気付きの力を感じる。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.7
クラス名(年齢)	すみれ組(1歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

おみせやさんごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

自分たちの手掛けたものが商品として店に並ぶ喜び又賑やかな空間を感じ、手に取り触れてみたり、遊んでみたり、様々なものに興味を持つ年長児との関わりを楽しむ。

2.活動スケジュール

R6.6.19～7.12 商品づくり

R6.7.16～7.17 お店屋さんごっこ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

牛乳パック 色画用紙 丸シール 輪ゴム (ぴよんぴよんガエル)

サイフ 買い物バック

4.探究活動の実践

<活動内容>

シアター、体操、表現遊びでカエルに親しんできた子どもたち。カエルの身体に模様をつけてみたらどんなに素敵だろう!?色とりどりのシールで模様をつけてみる。待望のお店屋さんの日。年長児とのやりとりをかわしながら商品を選んだり、体験コーナーの遊びを楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R6.6.19～7.12 ぴよんぴよんカエル 「カエルペタペタする」とシール貼りに夢中の姿、牛乳パックの向きを気にしながら顔を貼ったり、丸シールのキラキラの様子に心躍らせ「もう一回」と次々に作っていく。シールの色や形やカエルの表情を変えることで子どもたち自身でシールの貼る位置や繋げて貼ったりなど考えながら貼る。	
R6.7.12 お店屋さんを開きます ひまわり組からのお店屋さんごっこの話を聞き、ぴよんぴよんガエルを出店しようという保育士の話に不思議そうな姿、そこでお店屋さんごっこの遊びを取り入れ財布を持ちお金を払う遊びをすると「ください」とイメージを掴む。	
R6.7.16～7.17 お店屋さんごっこ ひまわり組さんが開くお店に「カエル!」と自分たちで作ったものが出店している様子に財布を開き買う姿が見られる。保育士の援助もありながら買い物を楽しむ。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

日頃の遊びで親しんでいたカエル、イメージを一致させてシール貼りへ!

大きめのシールではあったが、月齢によりシール面の区別、指先の器用さの差があり、子どもにより苦労する。沢山の商品を用意する上で適切な作業であり飽きずに取り組む。遊びの中でお店屋さんごっこを取り入れたことによって、お店屋さんごっこの一連の流れを覚え、お店屋さんごっこでもやりとりを楽しむことが出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.6～R6.7
クラス名(年齢)	ちゅうりっぷ組(2歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

おみせやさんごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

水にちなんだ遊びがたくさん売っていたおみせやさんごっこ。好きな遊びを選び自分のお財布で買っていく。多年齢児との関わりもありコミュニケーションをたくさん取る場面も見られる。

2.活動スケジュール

R6.6～ お店屋さんで売る商品作り

R6.6～ おみせやさんごっこ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

財布、買ったものを入れる袋〈かき氷製作で使ったもの〉紙コップ、シール
プラスチックスプーン、絵の具(赤、青、黄色、黄緑、紫)

4.探究活動の実践

<活動内容>

5歳児がしきって行く全クラス参加のごっこ遊び。各クラスが売るものを作り5歳児に寄付する。店員は5歳児、「いらっしゃいませ～」という声を聞き他のクラスの子どもたちは好きな物を買に行き。2歳児は初めて財布を手にとって回る。かき氷製作を行ないおみせやさんに出店した。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R6.6. かき氷作り 「かき氷って知ってる？」そんな問いに「祭りで食べた！」や「冷たくて美味しいやつ」等と話す子どもたち何味があるかな？と考え作っていく。三角の白い紙に絵の具を”ちょんちょん”と付け広げると... 素敵なかき氷の完成！「おいしそう～」と夏をたくさん感じた。	
R6.6. なにを売ろう？ ひまわり組さんにお店屋さんごっこが始まることを聞き「何をみんなに売ろう？」と考える子どもたち。たくさん作ってきたかき氷に決まると「もっと作らないと！」ともっと作り始める。	
R6.7 おみせやさんごっこ ついに始まったおみせやさんごっこ自分の財布をもって5人組で回っていく。買いたいものと考え3つ好きな物を買っていく。自分で作ったかき氷を買った子は美味しそうに食べている姿も見られる。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

かき氷作りでは、色々な味を想像しながら作っていく。毎回同じ味ではなく違う味にしてみたりと夏を感じながら楽しんで作っていた。お店屋さんごっこの知らせを聞くと「なにを売ろう？」と考えている子が見られ、色々な案が出てくる。「かき氷！」と決まるとにっこり「そうしよう！」と話していた。当日は自分が作ったかき氷を買に行き子が多かった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.6.20～7.18
クラス名(年齢)	もも組(3歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

おみせやさんごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

水の生き物や、雲にかかる虹。自由製作から、テーマの水を考えながら遊びや、図鑑で製作に広がりを見せていた。また、おかいものごっこを通じて、お金のやり取り、使い方を学んで欲しいと感じた。

2.活動スケジュール

R6.6.20 自由製作 初めましてカニ太郎

R6.17～6.26 自由製作 虹を探しに

R6.7.17～18 おかいものごっこ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

廃材(ペットボトルキャップ、牛乳パック等)、ビニールテープ、毛糸、ストロー、画用紙、折り紙等

4.探究活動の実践

<活動内容>

テーマの水を考えながら、思い思いに物づくりをし、クラスで話し合いながら、おかいものごっこで商品として並んでいることに喜びを感じ、おかいものごっこを通じて金銭(チケット)のやり取りを遊びながら学ぶ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R6.6.26 虹のかけらを探しに行こうと保育士が誘った。「ひもに通すと綺麗だね」と伝えた。そこで自分のブレスレットを作った。「これはお母さんに」「弟に作る」と家族に作る子どももいた。 「もっと長くしたい」と子どもの言葉からネックレスになるように長いひもを渡した。「虹のネックレス」が生まれた。ストローの穴にひもを通すことに集中し手先発達に繋がった。 カラフルにストローを通す子、同じ色を選んで通す子がいた。カラフルに入れる子は入れることを楽しんでいる。また、同じ色を入れる子は好きな色を選んで いた。 1日だけではなく「今日も虹のブレスレット作りたい」と子ども心の中に虹のブレスレットが残っていた。 1つの事によく集中する子、女の子中心に作っていた。	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

始めは作るという工程を楽しみ、遊びたいという気持ちが強くあった。おかいものごっこが始まることを聞いてからはたくさん作って遊んでもらおうとたくさん作ろうと意気込んでいた。兄弟がいる子は特に下の子に遊んで欲しいという気持ちが強い。保育者が提案したことから子ども達のやりたいという気持ちが「虹のネックレス」に繋がっている。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.6.19～7.18
クラス名(年齢)	さくら組(4歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

＜テーマ＞

おみせやさんごっこ

＜テーマの設定理由(子どもの姿)＞

今年のテーマの”水”に関するおもちゃを、各クラス廃材を用いて作り
お金のやりとりや、異年齢との関わりを深める場を設定し交流する。

2.活動スケジュール

R6.6.19 おみせやさんごっこで何作る？(水のけん玉)

R6.6.20～6.25 水のけん玉を作ろう！

R6.7.16～ おみせやさんの準備・おみせやさんごっこに行こう！

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

500mlのペットボトル・糸・スズランテープ・ビニールシール・丸シール・
画用紙・手作り財布・手作りお金

4.探究活動の実践

＜活動内容＞

進級してから初めての全クラス合同での行事。クラスで”水”に関するもの
で、みんなが楽しく遊べるおもちゃを考えよう！と話したり、全園児分作っ
て売買の準備まで行う。「こうしたらいい！」「これならできる！」「もっとや
りたい」と自分が作ったものを使ってもらう喜びを感じる活動。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
R6.6.20 みんなで何を作る？ 子どもたちに見本の手作りけん玉を見せると「やりた い！」「順番でね！」と声があった。どうやったら玉が 入るか上下に振ってみたり、友だちの動きを見て試行錯誤する 姿があり、上手にできた友だちを見本に夢中になって遊ぶ。 「数が足りないとみんなで一緒に遊べないね」とどうするか 問いかけてみると、「自分たちで作ればいい！」 とアイデアが出た。次の日から、作り方を伝え一緒に作り 始める。シールを貼る場所や、玉(スズランテープ)の 割き方にもこだわりをもって、それぞれ作り楽しむ。	
R6.7.16 おみせやさんがいよいよ開店！ みんなで全園児分のけん玉を作り、量の多さに「す ごーい！いっぱいだ！」と嬉しそうな笑顔を見せる。 お店の看板も子どもたちが作り、飾る場所や配置等 「ここに置こうよ！」「ここは？」と話し合いながら進め ていく。おみせやさんが始まると、各クラスの玩具を 買い、「いっぱい買った！」と部屋で遊び楽しむ。	 

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

初めての全クラス合同での活動。自分たちだけではなく、もっとみんなにも遊んでも
らいたい！という気持ちが子どもから生まれていた。どんなものを作るか、テーマの
”水”にちなんだものを一緒に考えた。もらった人が嬉しくなるにはどう作ればいいのか、全員分作り
100個以上を目の当たりにし、達成感が表情に表れていた。”一人では完成することが出来ないものは協力する”
という事を遊びを通して少しずつ学んだり、お金のやりとりを知ることが出来た活動だった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.7.9～7.18
クラス名(年齢)	ひまわり組(5歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

おみせやさんごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

水に親しみを持って過ごす中で、保育園のみんながやってきて楽しめるあそび場を作りたい！楽しいおもちゃを作り、売り買いを楽しみながら、みんなで“みず”を感じられるようなお祭りを企画した。

2.活動スケジュール

R6.7.10 みんなで遊びたいね ～遊び場を考える～

R6.7.11-12 おもちゃをつくろう！

R6.7.16-18 おまつりスタート！

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

3階遊戯室を会場にして、各クラスから手作りのおもちゃを募った。
他、魚釣り、飛行機の滑走路、池などを設定。

4.探究活動の実践

<活動内容>

しずく型の飛行機を飛ばして遊んでいたことから、「飛行機を作ってみんなで遊びたい」とアイデアをふくらませ、お店屋さんごっこの活動へとつながった。水をあちこちに散りばめた会場を企画し、楽しい場所を作り、売り買いの方法なども自分たちで考えていった。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R6.7.10 みずたくんの飛行機から広がるあそび 「これよく飛ぶね」と遊んでいた数人の子どもたち。 もっと広いところで飛ばしてみたいという話から、 3階の遊戯室で遊んではどうかとアイデアが。 「保育園のみんなでさ、あそんだらどう？」「いい ねー！」「おもちゃとか、魚釣りとか」「他のクラスに 作ってもらおうよ」あれよあれよという間に、3階に 大きな遊び場をつくる企画が広がった。 R6.7.11 どんなものを作る？ 魚釣りの場所には「滝を作りたい！」と、ひまわり 旅行で見てきた滝の姿が登場。“みずたくんの飛 行機”が飛ぶ場所は廊下に滑走路を造り、看板も 作ってみた。他クラスから集まったおもちゃに 「これはここに置く」と自分たちで考えていた。 R6.7.17 ろ過実験コーナーでは、自分たちで実験 したろ過の様子を、実際に見せてあげた。驚きの 声があがり、とても満足そうだった。	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

「みんなに喜んでもらえる遊び場を作りたい」と、年長組になってはじめての企画に大盛り上がり子どもたち。自分にできることを考えながら、看板、売り場など、ひとつひとつを工夫して並べていた。魚つりの場所に青色のポンポンがやってくると、すかさず「滝みたい！」と水が流れ落ちる様子を連想して並べ、ちょっとした“溪流釣り”に。見てきたものを再現する力にあふれていることに驚いた。